



市議会だより

No.231

編集者 桑原 薫
木村 裕・六島 久子
豊田 稔・山根 孝

発行所
吹田市泉町1丁目3番40号
吹田市議会事務局
電話 06(6384)1231



校区内の危険箇所を「安全マップ」にまとめる児童たち(山手小学校3年生)



ごみ焼却施設建設工事契約を可決 子ども笑顔輝き基金を創設

12月定例会は、12月6日から12月26日までの会期で開かれました。操業を開始して20年以上が経過する北工場を建て替えるためのごみ焼却施設建設工事請負契約案件を始め、子育て支援及び青少年育成の推進に係る子ども笑顔輝き基金を設置するための条例改正案や、職員の退職手当の経費などを計上した平成17年(2005年)度の補正予算案、教育委員会委員の人事案件など、市長から提出された議案は、すべて可決されました。

予 算

1 一般会計
平成17年(2005年)度一般会計予算は14億5391万円が補正され、総額が1038億2671万円となりました。補正の主な内容は、職員の退職手当の経費に7億290万円、特別養護老人ホーム等整備補助事業に1億9431万円、登下校時の子供の安全を確保するための子ども110番見まもり活動支援事業に1800万円、大阪府市町村職員互助会退会給付金制度等の廃止に伴う清算金を子ども笑顔輝き基金へ積み立てるため追加提出された4億7807万円などです。

請 願

採択された請願

12月定例会では、市民から提出された請願4件を採択しました。

桃山台市民ホール建て替えに関する請願
築40年近い同ホールを建て替えてバリアフリー化してほしい。
障害者自立支援法のもとでも、吹田市の施策の継続・拡充を求める請願
障害者自立支援法が制定され

が、利用可能な施設とサービスの量を減らさず、また、利用者の負担を増やさないよう独自の方策を講じてほしい。
障害者が安心して暮らせるための施策の充実を求める請願
障害者の生活施設等の整備を進めるとともに、障害者施策に係る市単独事業、重度加算などを存続させ、充実させてほしい。

(仮称)吹田市千里丘日本生命社宅跡地計画に関する請願
南山田地域にふさわしいまちづくりの指針を事業者に提示す

大阪府市町村職員互助会退会給付金制度等の廃止(大阪府内の全市町村(大阪市を除く)の職員等が加入する同互助会が、会員の退会時に、会員の個人掛金と各市町村等の負担金から支給していた給付金の制度を昨年11月末に廃止しました。

2 特別・事業会計
職員の退職手当の経費として下水道会計で3317万円、国民健康保険会計で2584万円、病院事業会計で4億7565万円が補正されました。
また、大阪府市町村職員互助会退会給付金制度等の廃止に伴う清算金が市に返還されることにより、水道事業会計で2952万円、病院事業会計で7110万円の補正予算案が追加提出され、補正されました。

条 例

積立基金条例の一部改正
子育て支援や青少年育成の新たな課題に取り組むため、大阪府市町村職員互助会退会給付金を取り入れた開発構想に作り直すよう強く指導してほしい。

不採択となった請願

12月定例会では、市民から提出された請願1件を賛成少数で不採択としました。
南山田小学校区日生跡地開発事業に対し、吹田市が開発許可を与えないように求める請願

12月定例会では、9月定例会で継続審査となった請願1件を引き続き継続審査としました。

継続審査となった請願
12月定例会では、9月定例会で継続審査となった請願1件を引き続き継続審査としました。

吹田市法外援護事業における夏期・歳末見舞金制度の継続を求める請願

会 派 名	構 成
会 派 名	構成議員(議席順)
日本共産党(8)	柿原 真生 塩見みゆき 竹村 博之 村口 始 山根 孝 曾呂利邦雄 倉沢 恵 松本洋一郎
民主市民連合(8)	竹内 忍 奥谷 正実 木村 裕 和田 学 森本 山本 力 由上 勇 信田 邦彦
公 明 党(7)	島 晃 坂口 妙子 六島 久子 神保 義博 桑原 薫 宇都宮正則 福屋 隆之
自由民主党(5)	中野紀世志 豊田 稔 野村 義弘 山下 真次 伊藤 孝義 生野 秀昭 藤木 祐輔 藤川 重一 木下平次郎
市民りべら(4)	中本美智子 寺尾 恵子
階級なき市民連合(2)	梶川 文代
すいた連合(1)	池刈佐知子
すいた市民自治(1)	

契約の締結

府市町村職員互助会退会給付金等清算金を財源とする子ども笑顔輝き基金を設置するものです。(審査内容の一部は4面に掲載)

高機能消防指令センター1
機器購入(5億1135
万円)

吹田市法外援護事業における夏期・歳末見舞金制度の継続を求める請願

ごみ焼却施設建設工事(214億9350万円)

採択請願の処理報告
9月定例会で採択した請願1件について、市長から処理結果の報告がありました。

千里万博公園4番1号に焼却能力480t/日のストロカ式全連続燃焼式焼却炉を有する施設を建設します。

障害児タイムケア事業の早期実施を求める請願

12月定例会では、次の方の選任に同意しました。

中高生障害児の日中活動の場を確保し、障害児を持つ親の就労支援と介護負担の軽減を図ることは、緊急の課題であると認識しているため、早期の事業実施に向けて努力していきたい。

教育委員会委員(任期4年)
出口町22番12 701号
延地 和子氏

人 事

12月定例会では、次の方の選任に同意しました。

代表質問から

12月13日、14日に各会派を代表して6人の議員が代表質問を行いました。質問と答弁の一部をお伝えします。なお、このほか15人の議員が個人質問を行いました。その内容は後日作成される会議録を御覧ください。会議録は市役所の情報公開課を始め、図書館や地区公民館等に備えており、市のホームページでも御覧になれます。

市民の人権意識の高揚 継続的な啓発活動を

(公明党)

問 国民の価値観の多様化などに伴い、様々な態様の人権侵害事象が発生しているが、去る12月4日から10日までの人権週間の本市の取組を聞きたい。

答 人権の大切さをテーマに小・中学生が描いた人権ポスターなどの展示や、2005人権フェスティバルを開催した。

また、市内11か所の駅前で人権啓発標語入りの啓発物品を配布するなど、市民の人権意識の高揚に努めた。

問 市民の人権意識の高揚を図るためには、継続的な啓発活動と心の交流の場が必要であると考えるが人権啓発について市長の見解を問う。

答 美術館と文学館の複合施設がコアコンセプトに掲げる(仮称)芸術文化館構想が最適であると思うが、どのような構想でいつ実現できるのか。

答 美術館と文学館の複合施設として、さらには次代を担う子供たちの豊かな感性や創造性をはぐくむ場としても必要な施設であると考えており、関係部署の職員などで、芸術文化館の基本的な性格や役割について検討してきた。

(仮称)芸術文化館構想 文化で大国を目指せ

(市民リベラル)

問 豊かな消費文化から最新の科学技術まで、人間が激しく移動する現代で、資源の少ない日本は、経済ではなく、文化で大国を目指すことが重要である。そのためには、総合的な視野を持ち、創造する文化を応援したくなるまちづくりを考えるのも一つの方法であり、多面性を持った自由な発想のできる構想が必要である。その意味からは、市



メイスシアターで開催された吹田市教育美術展

長がコアコンセプトに掲げる(仮称)芸術文化館構想が最適であると思うが、どのような構想でいつ実現できるのか。

答 美術館と文学館の複合施設として、さらには次代を担う子供たちの豊かな感性や創造性をはぐくむ場としても必要な施設であると考えており、関係部署の職員などで、芸術文化館の基本的な性格や役割について検討してきた。

今後、専門家や市民の方々の意見を聞きながら、地域

通学路の安全確保 危険箇所を調査せよ

(日本共産党)

問 最近、下校途中の児童をねらった許しがたい凶悪事件が相次いで発生している。通学路における児童の安全を確保するため、子供と行政、PTAなどが協力をし、学校単位で危険が想定される箇所を調査すべきではないか。

答 本市では、現在、36小学校中26校において、校区の安全マップの作成に取り組んでいる。作成に当たっては、子供の意見を取り入れているが、保護者と学校が連携し、子供と実際に校区を歩いて実態を再調査



地域の協力のもと実施されている集団下校(吹田第二小学校)

し、通学路の点検や危険箇所の把握に努めることが重要であると考えており、今後、未実施の学校への働きかけも含めて取組を強めていきたい。

問 危険が想定される箇所については、街灯の設置や雑草の除去など、具体的な環境改善計画を作成し、地域住民が中心となって、計画を実行していくべきではないか。

答 地域や通学路における子供の安全、安全を確保する取組を進めるに当たっては、学校やPTAから地域の諸団体への働きかけが不可欠であると考えている。

財政健全化の推進 有識者会議の発足を

(民主市民連合)

問 本年度から5年間を計画期間とする後期財政健全化の方針が立てられているが、これまでの財政健全化計画(案)の達成度について聞きたい。

答 本市では、平成17年2000年度から10年間を計画期間とする財政健全化計画(案)を策定し、前半5年間を集中改革期間として取り組んできた。

人件費の削減、事務事業の見直し、普通建設事業の精査見直しなどにより、この間の累積財源不足見込額を上回る約213億円の収支改善効果があった。

しかし、予想を上回る市税収入の落ち込みにより、なお厳しい財政状況が続いており、引き続き全庁一丸となり後期財政健全化の方針に取り組む決意である。

問 財政健全化を更に推進するため、外部の有識者や会社経営の経験者等を含めた有識者会議を発足し、市とは全く違う観点から提言を受けてはどうか。

答 後期財政健全化の方針の推進に当たっては、市民並びに議会に意見を反映していくことは大変重要であると考えている。今後、健全化の方針の到達状況や社会情勢の推移を踏まえた具体的な取組の進行管理を行う上で、意見を求めるための市民や専門家による外部委員組織についても検討していきたい。

政府等へ意見書

次の意見書4件を可決し、政府等に送付しました。

「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書
真の地方分権改革を実現するため、下記の事項を実現するよう強く要望する。①来年度の地方交付税については、所要総額を確保すること。また、税源移譲が財源措置すべき額に満たない地方公共団体については、確実に財源措置を行うこと。②3兆円規模の税源移譲に当たっては、所得税から個人住民税への10%比例税率化により行うこと。また、個人所得課税全体で増税とならない措置を講ずること。③個人住民税の市町村への配分割合を高めること。④平成19年2007年度以降も改革を推進すること。⑤義務教育費国庫補助金の税源移譲を行うこと。⑥施設整備費国庫補助金の税源移譲を行うこと。⑦税源移譲に伴う地方財源不足に対する補てんについては、交付税定率率の引上げで対応すること。⑧地方財政計画と決算との乖離については、来年度以降も投機的経費と通常の経費の規模を同時一体的に是正すること。⑨国と地方の協議の場を定期的に開催し、これを制度化すること。(全員賛成)

議会制度改革の早期実現に関する意見書
下記の事項について、地方議会の充実強化のため、抜本的な制度改革を行うよう強く要望する。①議会の招集権を議長に付与すること。②議決権を拡大すること。③専断処分要件を見直すこと。④不承認の場合の首長の対応措置を義務付けること。⑤議会に附属機関の設置を可能とすること。⑥議会の内部機関の設置を自由化すること。⑦調査権・監視権を強化すること。⑧地方自治法第203条から、議会の議員を除き、別途「公選職」という分類項目に位置付けるとともに、職務遂行の対価についてもふさわしい名称に改めること。(全員賛成)

改造エアガン対策の強化を求める意見書
下記の項目を実施するよう強く要望する。①インターネットを通じて改造エアガンそのものや改造のための部品入手、さらには改造方法などの情報の入手が容易になっている。サイバーパトロール(コンピュータ技術や電気通信技術を用いた犯罪に関する情報収集や犯罪の検挙等の活動)を徹底し、改造エアガン、改造用部品の販売等についても取締りを強化すること。②プロバイダーやサイト運営者に改造エアガンの出品や情報提供に関する自主規制を促すこと。③玩具としてのエアガンを取扱っている業界団体に改造防止のための自主規制などを促すこと。④青少年への影響を考慮し、警察などから保護者等にエアガンに関する広報を行うこと。(全員賛成)

JR吹田工場のアスベスト問題 周辺住民に健康診断を実施せよ

(日本共産党)

問 目視点にあるJR吹田工場の建物の外において、20年以上にわたるアスベスト使用車両の解体作業が行われていたことが明らかになった。この深刻な問題について、市は、現状をどう把握しているのか。

答 JR吹田工場の担当者からは、昭和63年(1988年)7月以降はアスベストの飛散を防止するため、車両をシートで囲み、集じん機を設置し、シートの内側の圧力を下げた上で、アスベストを除去していると聞いている。市としては、今後、アスベスト使用車両の解体作業が行われる際には、作業方法等について立入調査を実施したい。

問 JR吹田工場で働いている方の健康被害への対応に加え、工場周辺の住民の方々に健康診断を実施すべきではないか。

答 昨年11月に大阪府と共同で、市内に住む40歳以上のアスベスト関連事業者の元従業員やその家族の方などを対象として緊急肺がん検診を実施したが、現在、同内容の検診を保健センターで2ヶ月間、40歳以上の市民を対象に実施しており、この検診を利用してほしいと考えている。

三位一体改革の評価 本市への影響は

(自由民主党)

問 平成18年(2006年)度までの第1期三位一体改革に対する本市の評価を聞きたい。

答 3兆円の税源移譲が実現したことは、今後の改革への道を開いたものと考えられるが、児童扶養手当、児童手当など、地方の自由度の拡大につながる義務的経費を削減した国庫補助負担率の引下げは、地方分権の趣旨にそぐわないものである。また、普通交付税不交付団体である本市としては、地方交付税制度について、税源の偏在を調整する財政調整機能とともに、法律等により地方に義務付けられた施策の財源を保障する財源保障機能に限定し、必要最小限

市への提出文書 あて先表記の変更を

(公明党)

問 地方公共団体等に提出する文書のあて先表記に「殿」や「様」が用いられていることが多いが、申請書の書類に初めから「殿」や「様」が印刷されているのはどうかと思う。本市ではどのような表記になっているのか。また、そういった書類の

種類はどれくらいあるのか。
答 市民から提出される申請書などのあて先表記については、原則として「殿」を用い、あらかじめ「吹田市長殿」と印刷して使用している。あて先表記のある申請書などの総数については、推定ではあるが、要綱等で様式として定められたものも含めると、1000件を超えると考えている。

問 既に印刷された書類については、厳しい財政状況であるので使用すべきであると考え、国の法律等に基づかない変更が可能な書類のあて先表記は、「殿」から「あて」へ変更すべきではないか。

答 他市においては、市民からの投票などを行うがけとして申請書のあて先表記を「市長あて」とする。「殿」や「様」を用いない自治体が増えている。今後は、実施に向けて作業に取り組んでいきたい。

市内の緑の保全 吹田の原風景を守れ

(民主市民連合)

問 現在、緑の保全は単に樹木を守るだけでなく、緑地や里

山と呼ばれる風景を守り育てることが重要となっている。都市

の農地、農業風景は景観からも見直されているが、春日地区や山田地区では、吹田の原風景とも呼べる竹林や農業風景が失われようとしている。

これらの土地を将来的にも緑地として保存していくためにどうすべきと考えているのか。

また、千里緑地や服部緑地の保全、活用のため、早急に調査を実施すべきでないか。

答 市内には、公的な緑と民間の優良な緑があるが、どちらも今後の保全と活用が課題であると認識している。現在、関係各部が集まり、原風景の保全を検討、協議しているが、この中で広い意味での緑の保全、活用についても協議している。

特に、大阪府が整備を検討している服部緑地と、隣接する千里緑地及びその周辺等は、すくなく緑の景観が残されており、注



現在も残る市内の農地(山田西)

市民への情報伝達方法 早急に見直しを図れ

(吹田いきいき市民ネットワーク)

問 行政情報の周知を図るため、各担当課でチラシを作成し、自治会に配布を依頼しているが、チラシの内容は、市報に載っている情報が中心であり、地域の人々が知りたい情報はほとんどない。行政の自己満足でしかないチラシ配布を削減すべきであると考え、配布費用はどの程度かかっているのか。

答 各担当課からは年間40件のチラシ配布を依頼しており、360万円の経費がかかっている。また、仮に外部に配布を委託する場合は、新たに約3260万円が必要になる見込まれる。チラシの配布については、既に配布日を指定するなど、見直しを行っているがさらに有効

適切な範囲に努めていきたい。

問 行政の下請け的な情報回覧を縮小し、伝えるべき対象を意図した情報伝達方法に見直すべきではないか。

答 平成10年(1998年)3月に策定した情報化推進計画に基づき、様々な情報システムを構築するとともに、市報やケーブルテレビ、ホームページなどを使って情報提供を行っているが、今後は様々なメディアの特性をいかし、これら有機的に連携させながら効果的、効率的な情報提供、あるいは情報共有の実現に努めていきたい。

議会を傍聴しませんか

本会議や委員会の傍聴は、受付カードに住所や氏名を書いていただくだけでできます。皆さんが選んだ議員で構成する議会の活動を、あなたの目で実際に見てみませんか。

次の定例議会は3月初旬からの開会を予定しております。開催日などの詳細については、議会事務局までお問い合わせください。



要望・陳情

9月定例会閉会後、次の要望・陳情書が提出されました。市民の権利擁護法案の制定に反対を求め、意見書の提出を求める陳情書。陳情を重視するよう求める陳情書。庶民大増税計画の撤回を求める意見書採択についての陳情書。真の地方分権改革の早期実現に関する意見書採択の要請書。議会制度改革の早期実現に関する意見書提出の要請書。三位一体改革における生活保護費負担率等への要望。市立保育所運営費・社会福祉施設整備費の一般財源化に反対する陳情書。二み焼却炉の建設工事の発注中止についての要望。小泉首相請国神社参拝訴訟大阪高裁判決に関する要請。地方議会議員年金制度に関する緊急要請。真の地方分権改革の確実な実現に関する意見書採択の要請書。義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書採択の要請書。介護保険イサービス・デイケアの利用者の食費補助制度化を求める陳情書。吹田市小・中学校の学校規模適正化第二期実施計画案に関する陳情書。公団家賃の値上げを見合わせ居住者の居住の安定を図り、国会決議の全面実現を求める意見書提出についての要請書。大口使用の水道料金についての要望。

常任委員会の審査から

各委員会に付託された条例案補正予算案などのうち、主な議案について、審査した内容の一部主な質疑項目(意見の概要)をお伝えします。

財政総務

一般会計補正予算中所管分(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目

平成14年(2002年)度の民間保育所運営費の返還が今回来て遅れた理由
大量の退職者が出たことに対する認識と、人事行政の運営等の状況の公表に関する条例「に基づき市民への情報公開の考え方」

1 補正予算の主な内容は、大量退職者の退職金であり、質疑の中で、退職勤奨制度の効果

福祉環境

ごみ焼却施設建設工事請負契約(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目

入札結果を有効と判断するに至った経過
談合情報の内容と現時点での警察との協議状況
施設の工期と国庫補助金交付との関係
施設の安定稼働と安全性確保に向けた今後の事業の進め方

◆意見の概要

1 安全性や環境に十分配慮して事業を進めるとともに、一層費用を精査するよう強く要望



建て替えが行われるごみ焼却施設

2 建設に当たっては、トラブルが発生しないよう強く請負者に要請し、安心、安全の施設になるよう求める。

3 談合疑惑については、警察の判断を待つが、捜査の結果、違法行為があれば、速やかに対

して

大阪府市町村職員互助会にて
退会給付金等制度の廃止による市町村返還金の積算根拠
同制度の廃止に伴う大量退職と本市退職勤奨制度の在り方
職員と市の掛金の負担割合及び金額
職員の福利厚生制度の在り方の見直し
評議員の選定方法等を含めた互助会制度に対する検討と適切な情報収集の必要性

文教市民

一般会計補正予算中所管分(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目

(仮称)山田駅前公共公益施設整備事業について
同事業で整備される図書館
青少年拠点施設及び市民公益活動拠点施設などの運営形態の検討状況
利用者サービスの向上や件



山田駅前公共公益施設の建設予定地

市は、様々な分野でPFIの導入を検討しているが、コスト削減のための安易な導入で、公的責任を後退させることがあってはならない。また、事業の運営に当たっては、施設の拠点となるものである中で、市直営で行うよう強く求める。

建設

水道事業会計補正予算(追加提出分)
(全員賛成で承認)

◆質疑項目

大阪府市町村職員互助会退会給付金等清算金の具体的な使途

病院事業会計補正予算(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目

年度途中の退職に伴う業務への影響と退職希望者への慰留
退職者の再任用の取扱い
多くの職員が退職したが、患者に対するサービスの低下やミス等が起きないように、また、労働条件がこれ以上悪化しないように努力をされた。

◆意見の概要

3 運営協議会の設置に際して、これまでのサービスを後退させない方向で協議会の運営が行われるよう求める。また、協議会の構成メンバーについて、利用者やその家族の声を的確に反映できる方を選任するよう強く求める。

会議録をインターネットで御覧になれます

- 最初に、吹田市のホームページ (<http://www.city.suita.osaka.jp/>) を開き、市議会会議録をクリックしてください。
- 次に、吹田市議会会議録検索システムの目次から会議録を検索するをクリックしてください。
- 次の三つの検索方法が表示されますので、一つを選んでください。

会議録の閲覧ができます。

特定の単語や発言者で検索ができます。

様々な条件で検索ができます。

「年を絞る」から御覧になりたい会議録の年を選んでください。

<探したい言葉>を入力してください。

閲覧 をクリックして

同時に、質問者や発言者を指定して検索することもできます。

検索 をクリックしてください。

- 画面の左半分に該当する会議録が表示されますので、御覧になりたい年や会議録(定例会、臨時会、委員会)を指定して、日程欄の日付等をクリックしてください。
- 会議録が表示されましたら、①次の該当発言者などをクリックすると、該当発言が順次表示されます。

この会議録検索システムでは、本会議録は平成7年(1995年)6月臨時会分から、常任委員会記録は平成8年(1996年)12月定例会分から、特別委員会記録は平成11年(1999年)6月分から御覧になれます。

給付金等清算金の使途の明確化
積立基金条例の一部改正(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目
名称を「こども笑顔輝き基金」とする理由
基金の運用方法と収益見込み
基金の具体的な使途

◆意見の概要
9月定例会閉会後の主な議会は、次のとおりです。

【10月】

- 11日 企業決算審査特別委員会
- 17日 決算審査特別委員会
- 19日 吹田操車場等跡地利用対策特別委員会
- 20日 企業決算審査特別委員会
- 21日 企業決算審査特別委員会
- 25日 議会だより編さん委員会
- 27日 決算審査特別委員会
- 28日 決算審査特別委員会
- 31日 決算審査特別委員会

【11月】

- 1日 決算審査特別委員会

片山保育園の園児たち

◆質疑項目
大阪府市町村職員互助会退会給付金等清算金の使途

◆主な質疑項目
年度途中の退職に伴う業務への影響と退職希望者への慰留
退職者の再任用の取扱い

◆意見の概要
多くの職員が退職したが、患者に対するサービスの低下やミス等が起きないように、また、労働条件がこれ以上悪化しないように努力をされた。

◆質疑項目
病院事業会計補正予算(追加提出分)
(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目
年度途中の退職に伴う業務への影響と退職希望者への慰留
退職者の再任用の取扱い

◆意見の概要
多くの職員が退職したが、患者に対するサービスの低下やミス等が起きないように、また、労働条件がこれ以上悪化しないように努力をされた。

◆質疑項目
水道事業会計補正予算(追加提出分)
(全員賛成で承認)

◆質疑項目
大阪府市町村職員互助会退会給付金等清算金の具体的な使途

◆主な質疑項目
病院事業会計補正予算(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目
年度途中の退職に伴う業務への影響と退職希望者への慰留
退職者の再任用の取扱い

◆意見の概要
多くの職員が退職したが、患者に対するサービスの低下やミス等が起きないように、また、労働条件がこれ以上悪化しないように努力をされた。

◆質疑項目
山田駅前公共公益施設の建設予定地

◆意見の概要
市は、様々な分野でPFIの導入を検討しているが、コスト削減のための安易な導入で、公的責任を後退させることがあってはならない。また、事業の運営に当たっては、施設の拠点となるものである中で、市直営で行うよう強く求める。

◆主な質疑項目
(仮称)山田駅前公共公益施設整備事業について
同事業で整備される図書館
青少年拠点施設及び市民公益活動拠点施設などの運営形態の検討状況
利用者サービスの向上や件

◆主な質疑項目
一般会計補正予算中所管分(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目
平成14年(2002年)度の民間保育所運営費の返還が今回来て遅れた理由
大量の退職者が出たことに対する認識と、人事行政の運営等の状況の公表に関する条例「に基づき市民への情報公開の考え方」

◆補正予算の主な内容は、大量退職者の退職金であり、質疑の中で、退職勤奨制度の効果

◆主な質疑項目
ごみ焼却施設建設工事請負契約(全員賛成で承認)

◆主な質疑項目
入札結果を有効と判断するに至った経過
談合情報の内容と現時点での警察との協議状況
施設の工期と国庫補助金交付との関係
施設の安定稼働と安全性確保に向けた今後の事業の進め方

◆意見の概要
1 安全性や環境に十分配慮して事業を進めるとともに、一層費用を精査するよう強く要望

2 建設に当たっては、トラブルが発生しないよう強く請負者に要請し、安心、安全の施設になるよう求める。

3 談合疑惑については、警察の判断を待つが、捜査の結果、違法行為があれば、速やかに対して